

上位計画等における男女共同参画や女性の活躍に関する言及

1. 第5次総合計画

(第1編 総論 第3章 町民の期待 「町民意向調査：分野別での主な意見」)

【健康・福祉】

○子育て支援体制

学童保育の土・日・夜までの対応、保育園・保育所の整備、学童保育の質の向上・充実、高齢者の子育て支援への参加

【教育・文化】

○町民文化センターの現状

施設の有効活用、広報の充実、開館時間が短い、図書館の充実、駐車場が狭い、子どもや若者向けのイベントの開催

【産業】

○商工業の振興

町全体での地域活性化、買い物に行きたくなる商店街に、大型店の誘致、空き店舗の活用、土・日に店を閉めている所が多い

○観光振興

イベント情報のPR・アピール、寄地区の資源が活かされていない、伝統祭事の復活、商店街の活性化・賑やかさ



町民の期待として、子育て支援体制への要望、地域活性化や賑わいづくり、地域資源の活用などが挙げられている

(第2編 基本構想 第3章 施策の大綱)

3. 元気と心かよう安らぎを育む (健康・福祉)

(1) 生き生きと暮せるまちづくり

子育てから保育、医療政策を充実し、住みたい・住み続けたいと思える松田らしい誇れる環境づくりを計画的に創りだし、小さくても魅力いっぱいのまちづくりをめざします。

6. みんなが誇れるまちを育む (行財政、自治・まちづくり)

(1) 町民・地域自治を育む

年齢や性別、障害の有無などに関係なく、一人ひとりが尊重される人権尊重社会や男女が互いに尊重しあえ、等しく個人の能力を発揮できる男女共同参画社会の形成を進めます。



基本構想として、住みたい・住み続けたいと思える松田らしい誇れる環境づくりや、男女が互いに尊重しあえ、等しく個人の能力を発揮できる男女共同参画社会の形成を進めるとされている

(第4章 まちづくり戦略「定住化」)

“松田町の将来像である「緑と清流のまち、ゆとりを楽しむ きらめく松田」の実現に向けて、限られた人材と財源のなかで、小さなまちとして定住化に取り組んでいくためには、戦略的な視点に立ったまちづくり戦略を進めていく必要があります。

まちづくり戦略プロジェクトにおいては、町の持つ魅力や特徴を強みと捉えて、町の特性や資源、将来像の基本的な軸となる「骨格形成」「住まいづくり」「うるおいづくり」「安全安心づくり」「まなびやづくり」の5つのプロジェクトを尊重し、「松田スタイルの確立」に向けて取り組みます。“



まちづくり戦略として、限られた人材と財源のなか、小さなまちとして定住化に取り組むには、戦略的な視点に立ったまちづくりが必要とされており、住まいづくりやまなびやづくりなどが、まちづくり戦略の内容とされている。

2. 都市計画マスタープラン

(第2章 松田町の概況 2 都市づくりの主要課題)

(1) 社会環境の変化からみた課題 — 人口減少・少子高齢社会の到来
本町が将来にわたって持続可能な都市として維持・発展していくためには、より住みやすい都市づくりを進めていくことで、他都市への人口流出を抑制し、若年層における出生率の向上を図っていくとともに、良好な居住環境を求める他都市からの新たな定住人口を確保していくことが求められます。

(4) 都市環境からみた課題 — 魅力ある都市環境の形成
本町への定住促進や地域活性化に資する“交流人口の増加”に向けて、街なかでの商業・観光機能の強化や、郊外における農村体験など、自然とまちが融合した本町ならではの魅力づくりを進めていくことが重要となります。



都市づくりの主要課題として、他都市への人口流出の抑制や出生率の向上、他都市からの新たな定住人口の確保、定住促進や地域活性化に資する交流人口の増加に向けた取組の重要性が挙げられている。

(第3章 都市の将来像 2 都市づくりの将来像)

「ツナグ」松田～人・まち・コトを繋ぐまち～～“人”をツナグ～
○多くの人々が居住する定住都市として、若者世代にとって結婚や子育てがしやすく、女性が輝ける環境が整い、年齢を重ねても安全・安心で快適に暮らすことができる、誰もが住み続けたいと思える都市づくりを目指します。
○人と人が繋がるあたたかいまちづくりと、それを支える質の高いまちなか環境の形成や拠点施設の充実を図り、町民が誇りを持ち、本町への来訪者が何度でも訪れたいくなるような、魅力と活力あふれるまちづくりを目指します。
○都市と自然が調和した環境を活かし、多様化するニーズに対応した居住環境の形成を進め、町の活力創出に資する若年層や団塊世代など、新たな定住人口の獲得を推進します。



都市づくりの将来像として、子育て世代や女性を含め、誰もが住み続けたいと思える都市づくりや、町への来訪者が何度でも訪れたいくなるような魅力と活力あふれるまちを目指すとしてされている。

(第4章 全体構想 1 土地利用に関する方針)

質の高い居住環境づくり

一 定住促進に向けたゆとりある居住地づくり

○都心部や周辺自治体への通勤・通学の利便性が高い住宅都市として、定住人口の減少抑制及び若年層の定住促進に向けて、適正な場所における住宅の立地、都市機能の誘導、都市基盤の整備、「松田町まちづくり条例」による建築物の敷地面積の最低限度の制限等を図り、美しく質の高い生活環境の形成に取り組みます。

○定住促進に向けては、ハード面での居住地づくりだけでなく、数世代にわたり定住したいと思えるよう、既に居住している町民と新たに定住する方との地縁を形成するなど、ソフト面での対策にも併せて取り組みます。

一 町営住宅の再編

○定住人口の確保に向けて、その受け皿のひとつとなる町営住宅の再編に取り組みます。特に、老朽化が著しい既存町営住宅については、入居者や周辺の居住者の安全性の確保のためにも、新たな町営住宅の整備による集約化を図り、移転を促進します。

○町営住宅の整備候補地である町屋地区及び籠場地区においては、民間事業者との連携により、子育て世帯向けなどの多様なニーズに対応するとともに、周辺地域の活力創出や利便性向上に資する都市機能との複合化による、付加価値を有する町営住宅の整備を目指します。



土地利用に関する方針として、定住人口の減少抑制や若年層の定住促進に向け、質の高い生活環境の形成に取り組むこと、定住促進に向けてハード面だけでなくソフト面での対策も推進すること、定住人口の受け皿となる付加価値の高い町営住宅の整備を目指すとされている。

(第4章 全体構想 2 都市施設の整備方針)

(2) 公園緑地の整備方針

公園緑地の適切な管理 一 利用状況に応じた公園機能の更新・見直し・再編

○子育て世代の定住促進の観点からも、小さな子どもが遊べる場所は必要不可欠です。子どもの利用に対しては「松田町子ども・子育て支援事業計画」に基づき、のびのびと子どもたちが遊べる空間の確保に向けて、公園や児童公園、児童遊園等の整備や維持・管理、緑化の推進に努めます。

(3) その他都市施設の整備方針

医療・福祉・子育て施設の整備・充実 一 若年層の獲得に資する子育て支援施設の充実

○本町を持続可能で安定した都市として、未来につなげていくためには、若い世代の定住促進を図る必要があります。子育て世代が安心して子供を産み、育てていくことが出来る環境づくりに向けて、幼保一元化も含めた幼稚園・保育所の再編や空き教室を活用した学童保育など、本町で子育てがしたいと思えるような子育て支援施設の整備・拡充を推進します。



都市施設の整備方針として、子育て世代の定住促進の観点から、子どもたちが遊べる空間の確保に向けた取組みの推進に努めるとしている。また、子育て世代が安心して子供を産み、育てていくことができる環境づくりに向け、子育て支援施設の整備・拡充を推進するとしている。

(第4章 全体構想 3 都市環境の基本方針

(1) 都市景観の基本方針

地域資源のネットワークの形成に向けたサイン整備の検討

○来訪者にまちを分かりやすく案内し、まちの魅力を伝えていくためには、案内板や施設のサインが統一感を持ち、かつ本町ならではのデザインがなされていることが重要となります。来訪者だけでなく町民も歩くことが楽しくなるようなサイン整備は、町民自らが本町の魅力を再発見し、町全体の活性化や回遊性の向上にもつながっていくと期待されることから、本町に点在する公共施設や文化・歴史・自然等の地域資源をネットワークする、一体的なサイン整備の検討に取り組みます。

(3) 駅前環境整備の基本方針

本町が鉄道駅周辺の環境整備に取り組む意義 — 魅力創出による都市のブランド力向上と定住促進

○利便性の高い魅力ある駅前環境の創出は、若年層をはじめとする新たな人口獲得の促進や人の集積による周辺の既存商業環境の活性化など、町を支える“人”と“税金”の安定的な確保に資する非常に重要な施策です。この施策の進捗により、安定した行財政運営の下で、町民や事業者へ質の高い生活・都市サービスを継続的に提供していくことが可能となり、誰にとっても暮らしやすく、賑わいのある利便性の高いまちづくりを更に推進していくことが出来ます。

○魅力あるまちづくりは“都市のブランド力”を高め、新たな定住者や事業者に“選ばれる都市”へと成長していくための大きな要素です。人口減少社会の中で、本町が将来にわたって持続可能な都市としてあり続けていくためには、充実した公共交通環境という強みを活かしながら、新たな“人”に選ばれることで“税金”を確保し、それを生活・都市サービスに還元していく好循環を継続していく必要があることから、引き続き、多様な主体との連携を図りながら、魅力創出に資する駅前環境の整備に積極的に取り組んでいきます。



都市環境の基本方針として、地域資源のネットワーク形成に向けたサイン整備の検討や、誰にとっても暮らしやすく、賑わいのある利便性の高いまち・新たな居住者や事業者に選ばれる都市へと成長していくため、多様な主体との連携を図りながら、駅前の環境整備に積極的に取り組むとしている。